

ボランティア・市民活動情報誌

# Comvo

Communication & Voluntary

2026

4.5 月号

vol.302

I want to start volunteering,  
What should I do?

ボランティアを始めたいのですが  
どうしたらいいですか？



## 特集

「出会いをつなぐ 広げるチカラ」

## お寺に集い 生まれたつながり よりよい地域へ

認定NPO法人 縁遊-えんじょい-

- 5 ボラ基金交付団体へ突撃取材 安心、快適にすごせる場をすべての人に  
特定非営利活動法人 アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク
- 5 厚生労働大臣表彰受賞!! 支え、支えられる社会づくりをめざして  
特定非営利活動法人 たひなち 出発のなかまの会
- 6 おいでよ!地域のこどもたち 都会の中で基地をつくる  
ちゅうおうこども基地局



出会いをつなぐ  
広げるチカラ

2026 COMVO

# お寺に集い 生まれつつながり

## よりよい地域へ

団体名

認定NPO法人  
縁遊-えんじょい-



人が集い、  
元気な声が飛び交う  
お寺

家や学校以外の場所で多様な人と関わることをできる「居場所」。

その姿を思い浮かべたとき、どのような場所や活動を想像するでしょうか。

今号の特集で紹介する『認定NPO法人縁遊-えんじょい-』は、

「お寺から街づくりを」を活動理念に掲げ、地域に寄り添った多様な催しに取り組みながら、お寺と人のつながりを育むことでの地域の活性化をめざしています。

地域コミュニティの場が不足し、人と人とのつながりが希薄になりつつある今、誰もが集える、開かれたお寺での活動は、地域に温かく明るい希望をもたらしています。

お寺を拠点に広がる新しいつながりと、その先に見える地域の未来。その魅力をお届けします。

### 地域「コミュニティ」の 活性化をめざして

『認定NPO法人縁遊-えんじょい-』（以下、『縁遊』）が活動する願教寺は、大阪市鶴見区今津南にある真宗大谷派（東本願寺）の寺院で、静かな住宅街の中に位置しています。『縁遊』の理事長であり僧侶でもある多

才（さいのぶ）  
藝啓隆さん（以下、多藝さん）は、「大学卒業後、実家のお寺で仕事をするとなった時に「お寺は敷居が高く入りづらい」や、「自分の家紋や宗派を知らない」などお寺への関心が低く、お寺を遠い存在と感じているような声を聞いたことを思い出しました。また、社会的にも核家族化が進み、近隣の人の関わりが希薄化している

課題がありました。それならば、本来お寺がもっている、人が集まり、つながることができる地域「コミュニティの場」としての姿を取り戻し、誰もが気軽に立ち寄れる場所になるような取組みをしたいと考え、大学時代に経験したイベントの企画・運営の要素を掛け合わせることにしました。

と、人とお寺の懸け橋となる活動を始めた経緯を教えてください。

古くから地域に根付いている多様な取組みをボランティア活動を通じて行うことで、老若男女あらゆる世代の人々とともに地域の活性化へとつなげ、失われかけている地域社会

の復活をめざし、2010年から活動を開始しました。

### とにかくお寺へ！ 多種多様なイベント開催

『縁遊』では現在、書道教室や落語会、餅つきや流しそうめんなどの催しや、百歳体操やヨガ、認知症サポーターの講座など多種多様なイベントが開催されています。



落語会は40人程が集まる人気の催し

「地域的にも割合が多い高齢者の方々に来てもらえる催しは何かと考え、落語会を開催したのが始まりです。それ以降、催しの種類を増やしながら、今ではごもごも参加できるような流しそうめんや餅つきも取り入れています。餅つきをしなくなった地域の町会も増えているように感じるので、昔ながらの行事を取り入れることで、ごもごもたちが体験できる機会になればと思っています」と、多藝さん。仲間と一緒にやってみたい催しを出し合い、とにかく一回やってみようという前向きな精神で、多い時には年間100回近くの催しを開催しています。そんな催しに、現在は新たにeス



お寺の場所を提供し、寺ヨガを開催

ポーツが加わりました。もともとは高齢者の運動の機会として平日の午後に開催していましたが、入口に設置されたお知らせを通りすぎりに見たごもごもたちからの「やりたい」という声に応えるべく、開催の時間帯や時期を調整しながら、多世代交流の場として取り組まれています。

そんな催しのなかで最も盛況なのが、年に4回開催されている『寺市』です。『寺市』では、野菜の販売や企業のブース出店、抽選会、バザーなどが行われています。もともとは全国から集まった国産野菜を販売することから始まりましたが、活動に興味をもった企業からのお米の寄附や協力・協



餅つきを体験する機会を提供

賛などの相談により、他に類をみない『縁遊』ならではの催しのひとつになっています。新聞折込や掲示板で催日の広報をしていることもあり、多い時には300人程の来場者数となり、まるでお寺で市場がおこなわれているかのような賑わいが毎回見られます。「とにかくお寺に足を運んでもらうきっかけづくりとして活動していますが、イベントに参加することで徐々に参加者同士が顔見知りになり、開かれたお寺に来れば誰かがいるという環境をつくることができれば、住民の横のつながりが生まれ、安心して暮らせる地域づくりに寄与できるのではないかと思って活動を続けています」と、『縁遊』の活動理念を象徴するよつな想いを話してくれました。

待っている人  
喜んでくれる人がいる

地域のお寺を知ってもらい、実際に足を運ぶきっかけをつくりたいーそんな思いで多様なイベントを開催してきた『縁遊』の活動も、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受けました。「コロナ禍での開催はとにかく大変でしたが、感染状況などを見ながら慎重に活動を続けました。また、「外出が制限されている今だからこそ、高齢者への体操教室を開催できなかった」と、これまで関わりがなかった



開始1時間前から行列ができるほど『寺市』は大盛況

た、近くでリハビリ事業をおこなう企業から声をかけてもらい、少人数ではあるものの、距離を保ちながら開催するなど、「コロナ禍だからこそ開催の必要性を感じる催しもありました」と、多藝さん。

それでも、「コロナ禍で外出や催し開催が制限されるなか、活動を続けたい」と、開催することで感染リスクを高めるのではないかと不安の間で『縁遊』の活動は揺れ動いていました。「特に多くの方が参加してくれる『寺市』の開催は、この状況下でほんとうに実施していいのかわと、一番悩みました。でも、やってみないと分からない！という思いで開催を決めました。すると、これまでと変わらない人たちが来てくれました。その場では、近隣の住民同士であっても久しぶりに顔を合わせ、「元気だった」と声をかけあう姿を多く見かけ、ほんとうに開催してよかったなと心から思いました」と、どんな状況であっても、地域の人たちは誰かに会う場を求め、顔を合わせ、言葉を交わすことを楽しみにしている。その実感を胸に、少しずつ催しの再開へと歩みを進めた当時を

多藝さんはふりかえりました。

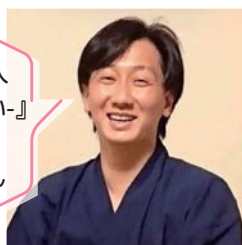
### 得られたつながり 変化する自身と地域

「これまでの地域とのつながりは、お寺の仕事を通じて知り合う門徒（檀家）との接点だけでした。ですが、活動を続けていることで、催しに来てくれる地域の人に道端で会うと「次はどんなイベントをするの？」「次の書道教室はいつ開催？」など、気軽に声をかけてもらえるようになりました。また、『縁遊』の活動に来てくれる方が普段のお寺の様子に興味をもち、お寺で行う法要などの仏教行事にも足を運んでくれたこともあり、自分自身だけでなく、お寺としても地域とのつながりが広がっているなと感じます」と、多藝さんは活動を通して得られた地域とのつながりを教えてくれました。また、「自分と同じように、『縁遊』の活動を通して、日常的に住民同士の会話や交流、つながりが広がってほしい」と、活動を通じた地域の変化を期待する言葉を紡ぎました。

活動を続けるうえで、応援してくれ

る人の存在や、参加者の喜ぶ姿。そして、活動者自身が楽しいと思える気持ち、地域のためになにかしたい」という熱意を高め、活動への大きな原動力となっています。「縁遊」が10年以上にわたり活動を続けてこれたのも、こうした前向きな気持ちが集まり重なってきたからこそです。

活動当初は珍しかったお寺でのイベントという取組みも、今では他のお寺から声がかかり、出張イベントを行うまでに広がっています。誰もが楽しめる場を絶やさずに続けていくことが、住民同士のつながりを育み、地域の未来、お寺の未来、そして日本の未来へとつながっていく。「縁遊」はそんな思いを胸に、これからも活動を続けていきます。



『認定NPO法人  
縁遊-えんじょい-』  
理事長の  
たけい ひろひろ  
多藝啓隆さん

認定NPO法人 縁遊-えんじょい-  
TEL: 06-6968-7550  
Mail: info@npoenjoy.com  
https://npoenjoy.com/

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料(1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

商品パンフレットは  
コチラから



(ふくしの保険)  
ホームページ

## <重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

**ボランティア行事用保険** (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

**送迎サービス補償** (傷害保険)

**福祉サービス総合補償**  
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
〈保険会社〉  
TEL: 03 (3349) 5137

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

# 令和7年度大阪市ボランティア活動振興基金 福祉ボランティア活動交付団体へ突撃取材

※福祉課題の解決に取り組む継続的な活動の実施を目的とした事業の支援

## 安心、快適にすごせる場をすべての人に

### 特定非営利活動法人アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク

『特定非営利活動法人アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク』（以下、『NAAH』）は、中学・高等学校・専門学校から大学などの教育活動の場や、そこに在学、在籍する人に対し、教育を受ける権利の侵害や嫌がらせなどのハラスメントのない環境の確保を目的に、2001年に御興久美子さんが立ち上げました。現在は年間500を超える相談支援や、保護者や学校教員等を対象とした合理的配慮などに関する講演会に取り組んでいます。

そんななか、大学に進学した発達障がいのある学生から人間関係の相談や、大学の対応の改善を求める声も多く、当事者の落ち着く居場所の必要性を痛感しました。そこで、代表理事の川西寿美子さん（以下、川西さん）は、『NAAH』の主な活動のひとつである発達障がいのある学生を対象とした『居場所あなな』の始まりを話してくれました。居場所を運営するスタッフは常に聞き役に徹し、本人が気持ちを話せる場づくりを大切にしています。そのため、「悩みを打ち明けられたことで、気持ちが楽になった」との声もあり、参加者が安心できる場となっています。

もつと互いを認め合い、

『個性の違いで排除する社会ではなく、

『その子はその子でいいやんか』と、寛容になる

社会や個人の居場所ができるよう、今後も活動をしていきたい」と、川西さん。ハラスメントの課題解決のみならず、セクシュアリティや発達障がいなど、人間関係に困難を抱える背景にある多様な社会課題の改善をめざし、『NAAH』の活動は今後も続いていきます。



発達障がい特性のある生徒等への合理的配慮を考えます

『その子はその子でいいやんか』と、寛容になる社会や個人の居場所ができるよう、今後も活動をしていきたい」と、川西さん。ハラスメントの課題解決のみならず、セクシュアリティや発達障がいなど、人間関係に困難を抱える背景にある多様な社会課題の改善をめざし、『NAAH』の活動は今後も続いていきます。

### 特定非営利活動法人 アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク

TEL:06-6353-3364 Mail:office@naah.jp  
http://naah.jp/index/about/

# 厚生労働大臣表彰受賞!!



多年にわたり、社会福祉及びボランティアの各分野の発展に功労した人々に贈られる厚生労働大臣表彰。令和7年度、大阪市でこの賞を受賞したグループを紹介します。

## 支え、支えられる社会づくりをめざして

### 特定非営利活動法人 出発のなかまの会

生野区を拠点に、生野区にある人もない人も誰もが自分らしく地域で暮らすことをめざして活動を行っている『特定非営利活動法人 出発のなかまの会』は、障がいのない人もない人も参加できる野外活動や、誰もが集える居場所でのランチ会、料理を通じた留学生との多文化交流など幅広いボランティア活動に取り組んでいます。

活動には、障がい当事者や生活困窮者などさまざまな生きづらさを抱えている人も関わっており、「目の前の課題を出会った人とともに考えて活動を展開

生野区を拠点に、障がいのない人もない人も誰もが自分らしく地域で暮らすことをめざして活動を行っている『特定非営利活動法人 出発のなかまの会』は、障がいのない人もない人も参加できる野外活動や、誰もが集える居場所でのランチ会、料理を通じた留学生との多文化交流など幅広いボランティア活動に取り組んでいます。

活動には、障がい当事者や生活困窮者などさまざまな生きづらさを抱えている人も関わっており、「目の前の課題を出会った人とともに考えて活動を展開

多様で複雑化する福祉課題に、対して『出発のなかまの会』は、出会った人とともに考え、活動を生み出し、それぞれが自らの力を発揮できる場所をめざし続けていきます。

障がいのない人も障がいのない子も一緒に野外活動



生野区社協多田会長(左端)、生野区筋原区長(右端)との記念撮影



障がいのない子も障がいのない子と一緒に野外活動

特定非営利活動法人 出発のなかまの会  
TEL:06-6754-3011

おいでよ!



# 地域の「子どもたち」

## 都会の中で基地をつくる

「子ども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がる「子ども居場所づくり」の取組みをご紹介します。

### ちゅうおうこども基地局(中央区)



食事は近くにある飲食店から運ばれてきます

「基地」それはこどもだけでなく大人にとっても魅力的な響きですが、そんな魅力にあふれたこども食堂「ちゅうおうこども基地局」が中央区難波千日前にあります。会場である河原会館は道具屋筋商店街の裏手にある小さな公園の中にあり、「会館のドアを開けるとすぐ公園」というなんとも恵まれた環境です。昨年の9月から、近隣の飲食店の協力のもと毎週木曜日に開催しており、こどもがこどもを誘って来たり、ママ友の口コミで広がっています。また、未就学児から小学生の参加が多く、中

央区だけでなく近隣の区からの参加もあるとのこと。「最初は虐待や孤食を減らしたいという思いで始めた」とNPO法人センターベース理事の瀧本雄介さん(以下、瀧本さん)。けれど、活動を進めていくなかで「誰でも気軽に参加できるこども食堂にしたい」という思いに変わっていったとのこと。自身も一児のパパで、とにかく楽しいことがしたいという瀧本さんは、こ



回す方も大変な大縄跳びに挑戦

そのな紙芝居や福笑いなどをネットで探し、自作し、いざ実践。「物語よりクイズ形式の紙芝居のほうが受け」などと反応を見ながら、そして瀧本さん自身も楽しみながら試しているそう。

つい最近、近隣の方が「こども食堂をここで作ってくれて本当にありがとう」と何度も言いながら寄附してくださったとのこと。また、「こんなに走り回って遊べるこども食堂はない」と保護者から喜ばれるけれど、手



瀧本基地局長のもとにみんな集まります

どもたちと一緒に鬼ごっこや大縄跳び、綱引きをするときも全力です。雨の日は2階和室で、こどもたちが喜び

伝ってくれる人や一緒に考えてくれる人がいたからできたこと。自分一人ではできなかった」と笑顔で話す瀧本さん。

NPO法人センターベース  
ちゅうおうこども基地局  
Mail: npo.centerbase@gmail.com



# “行きたくない”ではなく“行けない” 不登校から見えてくる子どもたちの気持ち

誰もが自分らしく、生き生きと暮らせる地域をめざして

全国的に不登校児童・生徒が増加傾向にあるなか、社会福祉法人大阪市社会福祉協議会が実施する『地域子ども支援ネットワーク事業』に登録のある大阪市内のこどもの居場所においても全体の約7%が不登校のこどもたちへの支援として活動しています。

しかし、世間にはまだ“なぜ学校に行けないのか”“甘えではないか”といった先入観や誤解が多く残っている現状があります。

そこで、本シンポジウムでは、こどもの居場所運営者や地域の大人、関係機関・団体等の参加者一人ひとりが、不登校児童・生徒や保護者が置かれている状況や背景を知ること、不登校に対しての正しい理解を深め、具体的な関わり方などを学び、支え合える地域社会のあり方を考える機会とすること、を目的に開催しました。

第一部では、不登校を題材にした映画『絆王子と無限の一步(制作:とまり画)』『絆王子と無限の一步(制作:とまり画)』を上映。本映画では、不登校のこどもたちの言語化できない感情や、本人しか分からない思い、不登校の実情などが描かれています。

また、映画を通じて、不登校への理解はもちろん、今後、多くのこどもたちと向き合っていくことになるこどもの居場所運営者をはじめとする多くの参加者にとって、こどもたちが抱えるさまざまな悩みや葛藤を理解することの大切さと難しさを学ぶ機会となりました。

第一部では、「とまりぎクリエイターズ代表 八柳まこいち氏」「梅田サイファー KZ氏」「コーディネーターとして、武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 教授 倉石哲也氏」が登場し、トークセッションを実施。

第一部では、「とまりぎクリエイターズ代表 八柳まこいち氏」「梅田サイファー KZ氏」「コーディネーターとして、武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 教授 倉石哲也氏」が登場し、トークセッションを実施。

トークセッションでは、児童発達支援管理責任者としてこどもたちの支援を行う傍ら、とまりぎクリエイターズ

の代表(プロデューサー)として表現に携わる八柳氏から、「関わっているこどもたちから感じるこどもたちの心境や、こどもたちの言葉にできない感情をどのように受け止めるか」「親子間のコミュニケーション」の重要性についての話がありました。

また、梅田サイファアのメンバーでアーティストとして活動するKZ氏は、自身が過去に不登校・引きこもりを経験したことから、元当事者としての経験や当時の心境などを振り返りつつ、「不登校・引きこもり

になった時の気持ちや葛藤」、「当時に欲しかった言葉や関係性」、また、「多

本シンポジウムには134人の参加がありました



左から倉石氏、八柳氏、KZ氏



くの選択肢がある現在の社会だからこそ“自由に選択できる”ことの大切さ”について話がありました。

最後に、こどもの心のケアや、不登校・虐待等の悩みを抱える家族の支援に取り組んでいる倉石氏から、「本人・家族の思いを理解し、地域や周りの大人として何ができるかを考え、こどもたち一人ひとりの、それぞれの異なる歩み方を尊重できる地域をつくっていくことが大切である」との想いを会場全体で共有し、トークセッションを締めくくりました。

こどもたちが自分らしく生き生きと暮らしている社会をめざして。私たちにも取り組めること、協力できることを、地域で一体となつて考えてみませんか？



# 地域子ども支援ネットワーク事業への協力金に係る贈呈式

## さまざまな企業との 連携・協働をめざして

社会福祉法人大阪市社会福祉協議会



「地域子ども支援ネットワーク事業」への協力金に係る贈呈式

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

目録、感謝状等の贈呈後に写真撮影

会（以下、本会）では、子ども食堂や学習支援などのこどもの居場所活動を通じて、「子どもが大人や地域とつながることで、「地域全体でこどもを育てる社会をめざすとともに、今後、こどもの居場所活動が地域に定着・継続することを目標に、地域住民・団体や民生委員・児童委員、社会福祉施設企



意見交換の様子

業団体等が一体となり、誰一人取り残されない地域づくりに向けて、『地域子ども支援ネットワーク事業』を実施しています。

そんななか、本会は、2月3日（火）に大阪府教育会館たかつガーデンにて、『地域子ども支援ネットワーク事業への協力金に係る贈呈式』を開催しました。本贈呈式は、日本生命保険相互会社大阪都心北支社（以下、日本生命）の誰もがずっと安心して暮らせる社会の実現に向けた取組みに端を発します。

日本生命はこれまでもさまざまな社会貢献活動に取り組まれているなか、今回、本会が実施する『地域子ども支援ネットワーク事業』の趣旨に賛同するとともに、日本生命が関わる企業へも協力を呼びかけ、結果、同じく当事業の趣旨に賛同する7社（日本生命含め計8社）から協力金の贈呈がありました。

そこで、協力企業へ感謝を伝える場としてはもちろん、今回のつながりをつなげ、「地域全体でこどもを育てる」社会をつくるためにも、本会とさまざまな企業との連携による更なる取組みを推進するため、贈呈式を開催。

贈呈式では、はじめに、本会の吉村常務理事から開会挨拶と今回の協力にあたっての感謝の言葉を述べました。次に、協力企業から本会へ目録を、そして、本会からお礼状及び感謝状を協力企業へ贈呈しました。

また、贈呈式では、本会と協力企業による連携・協働の取組みや、これか

らの社会貢献活動について意見交換を行いました。協力企業からは、それぞれの強みや視点、知見から、これからの地域や社会へ期待すること、協力していきたいことなど、さまざまな意見が挙がりました。

本会では引き続き、地域や地域住民、「こどもの居場所活動はもちろん、さまざまな関係機関、企業、団体等と連携し、こども支援の輪を広げ、「地域全体でこどもを育てる社会」をめざして、『地域子ども支援ネットワーク事業』を推進していきます。

### 協力いただいた企業の皆さま

（五十音順／敬称略）

- 大阪板硝子販売株式会社
- カワセコンピュータサプライ株式会社
- テスホールディングス株式会社
- 日新容器株式会社
- 日本カーネルシステム株式会社
- 日本生命保険相互会社  
大阪都心北支社
- 有限会社ミナミ
- 株式会社ヤマイチテクノ

ボランティア募集、イベント・セミナー情報いっぱい！

# 情報マーケット

Information Market

『参加してみたい!』と思ったり、内容について聞いてみたいことがあれば、各団体まで直接『コンボを見て』とお問い合わせください。



ボランティア  
募集などの情報



イベント・講座・  
セミナーなどの情報



その他、助成金  
などの情報

## OCVACのウェブサイトから 団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!

★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます



### 4 誰でもおのれり小さなヨット、体験乗艇会ボランティア募集

#### セーラービリティ大阪

<https://www.access-dinghy.com/>

単 継 土日祝

北港マリーナでボランティア活動してみませんか?ヨットの準備、乗艇の案内、片付け等。空き時間には、ヨットに乗って楽しんでもらえますよ。

日 程 4月~11月末までの土日 9:30~16:00頃までで都合の良い時間  
※詳細はHP参照  
場 所 大阪北港マリーナ(此花区常吉2-13-1)  
大阪シティバス「大阪駅前停留所」59系統から「北港ヨットハーバー」行き乗車 約50分 「西九条停留所」59系統から「北港ヨットハーバー」行き乗車 約25分

人数・条件 高校生以上 申込方法 TEL

問合せ TEL/ 090-3166-8993(担当:藤本)  
※お問合せの際は「ボランティアの件で」とお申し出ください

### 1 おはなしボランティア募集

#### おはなしボランティア アナシ

単 継 土日祝

子どもにおはなし(ストーリーテリング)と絵本を届けるボランティアをしませんか?心豊かな時間が過ごせますよ。

日 程 第4土曜日 10:00~12:00  
場 所 大正図書館おはなしの部屋(大正区千鳥2-6-15)  
大阪シティバス「大正区役所前」下車すぐ

人数・条件 子どもが好きな大人 参加費:1回200円  
申込方法 TEL

問合せ TEL/ 080-3835-7230(福元)  
Eメール/ m-fukumoto@gol.com

### 5 和慧の活動に協力していただける方を募集しています

#### 特定非営利活動法人 わけい

<https://x.com/NpoWake>

単 継 平日 土日祝

協力していただく内容 セミナー・相談会・イベント等での会場セッティングや受付対応をお願いします。他に、集めた空き缶の分別・水洗いなど。

日 程 随時 9:00~17:00(イベント内容によって変動あり)  
場 所 NPO法人和慧事務所他(西成区山王1-13-11)  
地下鉄「動物園前」駅2番出口より徒歩5分

人数・条件 高校生以上(高校生は保護者の同意必要) 交通費あり  
申込方法 TEL

問合せ TEL/ 06-6536-8822  
Eメール/ wakei.npo@gmail.com

### 2 「プライドクルーズ大阪2026」ボランティアスタッフ募集

#### 認定NPO法人虹色ダイバーシティ(プライドセンター大阪)

<https://pridecenter.jp>

単 土日祝

LGBTQ等の性的マイノリティの啓発と祝祭を行うイベントです。スタンブラリー・ブース・撮影などのお手伝いをお願いします!

日 程 5/23(土) 12:00~18:00  
場 所 川の駅はちけんや(中央区北浜東1-2)  
地下鉄「京浜」駅「天満橋」駅17・18番出口

人数・条件 18歳以上 LGBTQに肯定的な人  
定員:25人(応募多数の場合は抽選)  
申込方法 HP 締切:5/7(木) 必着

問合せ TEL/ 06-7507-2778  
Eメール/ staff@pridecenter.jp

### 6 第27期介護オンブズマン養成講座

#### 特定非営利活動法人 介護保険市民オンブズマン機構大阪

<https://o-netnpo.site/>

単 継 平日 土日祝

高齢者の思いを聴き、施設との懸け橋となる「介護オンブズマン」をめざす講座です。共に学び、活動を広げていきましょう。

日 程 基礎講座(オンデマンド)5/8(金)配信開始  
演習(スクーリング)5/23(土) 10:30~16:40  
場 所 PLP会館 4階小会議室(北区天神橋3-9-27)  
地下鉄「扇町」駅4番出口から徒歩3分 JR「天満」駅から徒歩5分  
人数・条件 20歳以上(医療・福祉の資格は不問) 定員:30人 参加費:4,000円  
申込方法 TEL・FAX・Eメール・郵便・HP 締切:5/1(金)

〒530-0041 北区天神橋3-9-27 PLP会館  
問合せ TEL/ 06-6949-8192 FAX/ 06-6949-9296  
Eメール/ o-netnpo@train.ocn.ne.jp

### 3 いのちの電話ボランティア募集

#### 社会福祉法人 関西いのちの電話

<https://kaind2.com>

単 継 平日 土日祝

一人ひとりの「いのち」を大切にすいのちの電話の相談員になってみませんか?特別な資格はいりません。人のために何かしたい。あなたの力が必要です。

日 程 月2回程度の活動(※事前の養成講座を要受講)  
養成講座:1年目 2026年7月~2027年4月  
2年目 2027年5月~2028年3月

人数・条件 20~68歳の人 事前のボランティア養成講座に参加  
のうえ、月2回の電話相談を担当できる人  
申込方法 HP 締切:6/18(木)

問合せ TEL/ 06-6795-4860  
Eメール/ jimukyoku@kaindinochi.com

### 11 音訳ボランティア養成講習会 受講者募集

**大阪市立早川福祉会館点字図書館** 継 平日 👤

<https://www.lighthouse.or.jp/hayakawa/>

見えにくい・見えない人のために、図書や情報を音声で届けてみませんか？  
はじめての方向けの講習です。経験の有無は問いません。

**日 程** 午前部 6/11(木)~12/3(木)の各木曜日 各日10:00~12:00  
夜部 6/10(水)~12/16(水)の各水曜日(8/12・9/23は休講)各日18:30~20:30

**場 所** 大阪市立早川福祉会館(東住吉区南田辺1-9-28)  
地下鉄「駒川中野」駅から徒歩10分、「西田辺」駅から徒歩15分

**人数・条件** ・事前説明会に参加できる人(開催日時はHPでご確認ください)  
・講習会修了後、点字図書館の音訳ボランティアとして活動できる人  
定員:各20人 参加費:無料

**申込方法** TEL・FAX・Eメール 締切日については事前説明会でお伝えします

**問合せ先** TEL/ 06-6622-0123 FAX/ 06-6622-0020  
Eメール/ hayakawa-f@k2.dion.ne.jp

### 7 法人設立30周年記念シンポジウム『いま「対話」のもつケアと修復の役割を考えるー現代社会の生きづらさと向き合ってー』

**NPO法人 関西子ども文化協会** 単 土日祝 👤

<https://kansaikodomo.com/>

子どもや家族が抱える複雑な問題に向き合うため「対話」が持つケアの力を学ぶ場を提供、斎藤環氏を招き対話的アプローチの意義と実践を共有する場を創る

**日 程** 5/24(日)14:00~16:50

**場 所** 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)  
7階ホール(中央区大手前1-3-49)  
地下鉄・京阪「天橋筋」駅1番出口から徒歩5分  
大阪シティバス「京阪東口」下車すぐ

**人数・条件** どなたでも 参加費:無料

**申込方法** TEL・Eメール・HP

**問合せ先** TEL/ 06-6809-5613  
Eメール/ event@kansaikodomo.com

### 12 【色んな人と色んな個展会】サロンで楽しむ小さなフェスタ(とてととゆるん)

**特定非営利活動法人ゆるん** 継 平日 土日祝

<https://you-run.info/>

「とてととゆるん」個展、ワークショップ、販売などいろんな事ができるかも☆  
出展者募集。ボランティアも募集中です！

**日 程** 10/1(木)~10/25(日)11:00~20:00

**場 所** ゆるんサロン(天王寺区清水谷町16-25 1F)  
地下鉄「谷町六丁目」駅3番出口から徒歩10分  
地下鉄「玉造」駅2番出口から徒歩10分

**人数・条件** 女性 定員:5~10人 参加費:3,000円

**申込方法** Eメール 締切:8月末

**問合せ先** TEL/ 06-7653-9720  
Eメール/ info.you.run@gmail.com

### 8 令和8年度聴覚障がい者のためのいきいきセミナー

**大阪市立総合生涯学習センター** 継 平日 👤

<https://osakademanagerabu.com/umeda/>

聴覚障がい者の皆さんが楽しみながら学べる場  
~仏像美術・モノづくり・防災・ポッチャ・認知症予防について~

**日 程** 5/27(水)、6/3(水)・10(水)・17(水)・24(水) 各日13:30~15:30  
毎週水曜日 連続講座 全5回

**場 所** 大阪駅前第2ビル5階(大阪市北区梅田1-2-2-500)  
JR「北新地」駅直結 地下鉄「西梅田」・「東梅田」・「梅田」駅

**人数・条件** 大阪市内在住または在勤の50歳以上で聴覚に障がいがあり、  
手話通訳か要約筆記などサポートを必要とする方  
定員:40名(多数抽選) 参加費:300円(教材費として)

**申込方法** FAX・往復ハガキ・HP・いちょうネット

**問合せ先** TEL/ 06-6345-5004 FAX/ 06-6345-5019

### 13 おしゃべりカフェ

**NPO法人 kunこころの宮** 単 継 土日祝 👤

<https://kun-kokoronomiya.org/>

誰もが集えるコミュニケーションの場 皆でワイワイおしゃべりしましょう！

**日 程** 毎月第4土曜日13:00~16:00

**場 所** 新谷町第一ビル306(中央区谷町7-2-2)  
地下鉄「谷町六丁目」駅

**人数・条件** どなたでも 参加費:500円

**申込方法** TEL・Eメール

**問合せ先** TEL/ 06-6777-6156  
Eメール/ info@kun-kokoronomiya.org

### 9 淀川発見講座2026

**淀川管内河川レンジャー** 単 土日祝 👤

<https://river-ranger.jp/>

淀川発見講座を受講して、川のボランティアはじめませんか。

**日 程** 5/30(土)9:30~18:00

**場 所** 大阪市中央公会堂 大会議室(北区中之島1-1-27)  
地下鉄・京阪「淀屋橋」駅1番出口から徒歩5分

**人数・条件** 淀川・宇治川・桂川・木津川流域在住または通勤・通学の  
満18歳以上の方(2026年4月1日時点)  
定員:60人 参加費:無料

**申込方法** HP 締切:5/19(火)

**問合せ先** TEL/ 072-861-6801  
Eメール/ cyuouu-kasen@nifty.com

### 14 日曜日の活動・畑活動・子ども食堂

**特定非営利活動法人 ところ** 単 継 土日祝 👤

<https://npotokoro1001.jimdofree.com/>

週末、みんなで畑作業を楽しみませんか？「農業の専門知識は不要！」和気あいあいと楽しむことを一番大切にしています。初心者の方、大歓迎です！  
NPO法人MSISKとの共催です。

**日 程** 毎週日曜日(第4日曜日を除く)11:00~15:00  
第3日曜日のみ「子ども食堂」同時開催

**場 所** たちはな会館(平野区加美鞍作1-2-31)  
JR「加美」駅から徒歩5分、「新加美」駅から徒歩5分

**人数・条件** どなたでも 食事あり(子ども食堂開催時)

**申込方法** 申込不要

**問合せ先** Eメール/ info@npotokoro.com

### 10 初級手話講習会

**北区ボランティア・市民活動センター** 継 平日 👤

<https://osaka-kitakusyakyou.com>

手話を覚えてみませんか？6ヵ月で基礎的な手話が身につきます。初級コース修了後、手話サークルでステップアップもできます。ぜひご参加ください。

**日 程** 6/5(金)~11/27(金) 毎週金曜日(祝日・第5週は除く)各日18:30~20:30

**場 所** 大淀コミュニティセンター 2階(北区本庄東3-8-2)  
地下鉄「天神橋筋六丁目」駅1番出口から徒歩8分  
大阪シティバス「天神橋8丁目」から徒歩3分

**人数・条件** 初めて手話を学ぶ人が対象  
定員:40人(多数抽選) 参加費:無料

**申込方法** TEL・FAX・Eメール 締切:5/26(火)必着

**問合せ先** TEL/ 06-6313-5566 FAX/ 06-6313-2921  
Eメール/ kitamail@osaka-kitakusyakyou.com



## 19 2026年度「シニアボランティア活動助成」 「ビジネスパーソンボランティア活動助成」

### 公益財団法人 大同生命厚生事業団 <https://www.daido-life-welfare.or.jp/>

社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするシニア(年齢満60歳以上)が80%以上のグループ、および、ビジネスパーソン(会社員、団体職員、公務員、経営者、個人事業主)が80%以上のグループ(いずれもNPO法人を含む)。ただし、過去3年以内に当財団の助成金を受けたグループは除く。

- 助成金額** 2つのボランティア活動助成をあわせて、原則1,300万円以内  
1件 原則12万円。特に内容が優れている場合は20万円限度で助成
- 応募方法** HPから申込書をダウンロードし、記入のうえ郵送してください(※HP参照)
- 応募締切** 5/18(月) 当日消印有効  
※公募期間が前年度から一週間早くなっておりますのでご注意ください

**問合せ先** 公益財団法人 大同生命厚生事業団 事務局  
〒550-0002 西区江戸堀1-2-1 大同生命大阪本社ビル内  
TEL/ 06-6447-7101 FAX/ 06-6447-7102



## 15 2026年度 配食サービス車贈呈事業

### 公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団 [https://www.mainichi.co.jp/osaka\\_shakaijgyo/](https://www.mainichi.co.jp/osaka_shakaijgyo/)

地域で高齢者や障害者らを対象にした配食サービス事業を展開しているボランティアや民間団体、施設などに配食サービス車を贈呈します。

- 贈呈対象** 地域で高齢者や障害者らを対象にした配食サービスを行っているボランティアや民間団体、施設など
- 贈呈内容** 年間1台の配食サービス車を贈呈  
※配食サービス車の詳細はHP参照
- 申請方法** 必要書類(事業概要や事業実績、収支報告書、事業計画(ほか))をそろえたうえで郵送 ※詳細はHP参照
- 応募締切** 5/15(金) 必着

**問合せ先** 公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団 〒530-8251北区梅田3-4-5  
TEL/ 06-6346-1180 Eメール/ mainichi-osj@sirius.ocn.ne.jp



## 20 2026年度 ニッセイ財団 地域福祉チャレンジ活動助成

### 公益財団法人 日本生命財団 <https://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kourei/02.html>

「共に生きる地域コミュニティづくり」を基本テーマに、地域共生社会の構築に向けた地域包括ケアシステムに活かしていく。そして包括的支援体制が展開できる先駆的で汎用性の高いチャレンジ活動について、助成を行います。※詳細はHP参照

- 助成対象** 1年以上の活動実績がある団体(法人格の有無は問いません)
- 助成金額** 1団体最大400万円(1年最大200万円)
- 応募方法** HPから電子申請システムにて申請
- 応募締切** 5月29日(金)23:59
- その他** 第38回シンポジウム記録集(実践報告など)を無料配布中(先着500名様)

**問合せ先** 公益財団法人 日本生命財団 高齢・地域共生社会助成事務局  
TEL/ 06-6204-4013(平日10-17時)  
Eメール/ kourei-fukus@nihonseimei-zaidan.or.jp



## 16 第56回 毎日社会福祉顕彰

### 公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団 [https://www.mainichi.co.jp/osaka\\_shakaijgyo/](https://www.mainichi.co.jp/osaka_shakaijgyo/)

全国の社会福祉関係者および団体のなかから、とくに優れた功績をあげ、社会福祉の発展向上に貢献している個人あるいは団体を表彰します。

- 助成対象** (学術)社会福祉の向上に顕著な影響を与える研究をした(技術)児童、高齢者、心身障害者などの分野で独創的なスキル、プロセスで効果をあげた(創意)施設、機器などの改善、充実、または活動実績について創意工夫や新技術導入で功績をあげた(奉仕)長年にわたり国際、地域福祉で奉仕活動を続け、将来も継続する強い意志を持つ(勤勉)社会福祉施設に30年以上勤務し、顕著な成果をあげた(その他)新しい分野を開き、時代のニーズに応える福祉活動をしている
- 助成内容** 表彰件数:3件 受賞1件につき100万円と顕彰盾
- 推薦方法** 推薦用紙をダウンロードして記入し、必要資料を添付のうえ郵送。自薦無効
- 応募締切** 5/31(日) 必着

**問合せ先** 公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団 〒530-8251北区梅田3-4-5  
TEL/ 06-6346-1180 Eメール/ mainichi-osj@sirius.ocn.ne.jp



## 21 第3回「ボランティア活動資金助成事業」(令和8年度)

### 公益財団法人 みずほ教育福祉財団 <https://mizuho-ewf.org>

少子高齢化が進化するなか、共に生きる地域づくりにつながるボランティア活動(高齢者・障がい児者・子どもの支援や居場所づくり)に対して、必要となる資金を助成します。

- 助成対象** ①5人以上で活動する、非営利のグループ・団体(法人格の有無は問わない)  
②グループ・団体結成後、3年以上の活動実績があること(令和8年3月末基準)  
③令和5年度以降、当財団から助成を受けていないこと(過去3年間の助成を対象外)  
④グループ・団体の規約(会則)、および年度毎の活動報告書、会計報告書類が整備されていること、また、グループ・団体名義の金融機関口座を保有していること
- 助成金額** 区分A・B 高齢者、障がい児者の支援等に係るボランティア活動:5~15万円  
区分C 子どもの支援等に係るボランティア活動:5~15万円 ※詳細はHP参照
- 応募方法** HPから所定の申請書をダウンロードして作成のうえ、都道府県・指定都市または市区町村社会福祉協議会あるいは行政の推薦を受け、添付書類とともに郵送 ※詳細はHPを参照
- 応募締切** 5/22(金) 必着

**問合せ先** 公益財団法人 みずほ教育福祉財団 福祉事業部 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1  
Eメール/ fukushi@mizuho-ewf.org



## 17 令和8年度 赤い羽根共同募金助成金

(令和9年度実施事業対象)

### 社会福祉法人 大阪府共同募金会 <https://akaihane-osaka.or.jp/>

地域福祉の推進を図るための社会福祉活動への助成を行っています。

- 助成対象** 大阪府内で社会福祉を目的とする事業を行う法人・団体が、令和9年度(令和9年4月~翌年3月末)に実施する事業
- 助成金額** 助成対象団体及び助成対象事業により異なる ※詳細はHPを参照
- 応募方法** HPから助成申請書(申請書様式)をダウンロードし、作成のうえ必要な添付書類を添えて提出。※詳細はHPを参照
- 応募締切** 5/1(金)~5/20(水)  
詳しくは大阪府共同募金会HPをご覧ください

**問合せ先** 社会福祉法人 大阪府共同募金会  
〒542-0065 大阪府中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内  
TEL/ 06-6762-8717 FAX/ 06-6762-8718  
Eメール/ ai-kibou@akaihane-osaka.or.jp (件名に助成金の申請についてと明記してください)



## 22 第24回「配食用小型電気自動車寄贈事業」(令和8年度)

### 公益財団法人 みずほ教育福祉財団 <https://mizuho-ewf.org>

高齢者を対象とした福祉活動を支援するため、高齢者向けに配食サービスを行っている民間団体などに対し、配食用小型電気自動車(愛称:みずほ号)の寄贈を行います。

- 寄贈内容** 配食用小型電気自動車1台 事業規模:10台(10団体)(予定)
- 助成対象** ①高齢者を主な対象とし、原則として、1年以上継続して、週1回以上、調理・家庭への配食・見守り活動を一貫して行っていること ②非営利の民間団体(法人を含む)であること ※配食事業がすべて行政等からの委託である場合は、当該部門の営業利益が黒字でないこと ③配食用の車両が不足しており、本寄贈によって円滑化が見込まれること ④本寄贈を過去6年以内(令和2年以降)に受けていないこと
- 応募方法** 1.所定の申請書に必要事項を記入の上、都道府県・指定都市または市区町村社会福祉協議会あるいは全国食支援活動協力会いずれかの推薦を受け、添付書類とともに郵送  
2.推薦団体経由または直接、申請書類一式を送付 ※詳細はHP参照
- 応募締切** 6/12(金)必着

**問合せ先** 公益財団法人 みずほ教育福祉財団 福祉事業部  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 Eメール/ fukushi@mizuho-ewf.org



## 18 令和8年度 河原林富美福祉基金助成

### 社会福祉法人 大阪府共同募金会 <https://akaihane-osaka.or.jp/>

故河原林富美氏による遺贈金により設置した基金です。社会福祉の領域で支援を要する事業に助成を行います。

- 助成対象** 大阪府内広域で福祉ボランティア活動を行い、一定の要件を満たす団体が、令和8年8月~翌年3月末に実施する事業 ※詳細はHPを参照
- 助成金額** 令和8年度助成枠 500万円以内  
1団体につき上限30万円(ただし、申請は1団体1事業に限る)
- 応募方法** HPから助成申請書(様式1)をダウンロードして作成し、必要な添付書類を添えてメールにて提出。(※添付書類は郵送可)
- 応募締切** 5/29(金) 詳しくは大阪府共同募金会HPをご覧ください

**問合せ先** 社会福祉法人 大阪府共同募金会  
〒542-0065 大阪府中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内  
TEL/ 06-6762-8717 FAX/ 06-6762-8718  
Eメール/ ai-kibou@akaihane-osaka.or.jp (件名に助成金の申請についてと明記してください)

# NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリアルタイムでお届けします。

## 地域と歩む一歩 サービスハブ西成

認定NPO法人釜ヶ崎支援機構 サービスハブ西成 <https://servicehub-nishinari.jp/>

認定NPO法人釜ヶ崎支援機構は1999年に設立し、釜ヶ崎を拠点に野宿生活者や野宿に至るおそれのある人々への生活支援や仕事づくりを行って来ました。同法人が大阪市西成区から委託を受けて運営する「サービスハブ西成」は、生活保護を受給する方が、自分のペースで働くことや暮らしを整えていく場です。

サービスハブ西成では、生活面や仕事探しと一緒に考えながら、社会とのつながりを取り戻す機会を大切にしています。働くことにblankがある方や外出が難しい方、コミュニケーションに不安のある方などが、それぞれの状況に合わせて少しずつステップを踏める場所です。朝のラジオ体操

や軽作業、地域の清掃活動、デイサービスでの血洗いなどに参加する中で、活動の幅を広げていきます。談話室も日中の居場所として開放し、気軽に立ち寄れる相談の場となっています。一人ひとりが地域の中で役割を見つけ、社会との関わりを広げていくことを目指しています。



居場所で真剣にカードゲームに挑戦している瞬間です

### 25 第46回 緑の都市賞

公益財団法人 都市緑化機構 <https://urbangreen.or.jp>

緑の都市賞は、明日の緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、緑の保全・創出活動に卓越した成果をあげている市民活動団体、企業および公共団体を顕彰し、これにより、広く都市の緑化推進、緑の保全による快適で地球にやさしい生活環境を創出することを目的に、1981年に創設されました。

- 応募要件** 緑の市民協働部門：主に市民団体 ※行政や民間事業者との協働を含む  
緑の事業活動部門：主に民間事業者 ※市民団体や行政との協働を含む  
緑のまちづくり部門：主に市区町村 ※市民団体や民間事業者との協働を含む
- 応募方法** 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、緑化や緑の保全の成果が確認・比較できる写真(15~20枚)及び、その他の必要な書類を添えて送付(※詳細はHP参照)
- 応募締切** 6/30(火)

**問合せ先** 公益財団法人 都市緑化機構内「緑の都市賞」事務局  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階  
TEL/ 03-5216-7191 FAX/ 03-5216-7195 Eメール/ midori.info@urbangreen.or.jp

### 23 2026年度子ども文庫助成事業

公益財団法人 伊藤忠記念財団 <https://www.itc-zaidan.or.jp/summary/library/grant.html>

子どもたちに本を届けることを目的に読書啓発活動を続けている皆様を応援します。詳細はHPにアクセスいただき、応募(推薦)用紙に必要事項をご記入の上、下記提出先までお送りください。

- 助成内容** ①子どもの本購入費助成(助成金30万円)  
②病院・施設子ども読書活動費助成(助成金30万円)  
③子どもの本100冊助成(当財団が選んだ児童図書セット)  
④子ども文庫功労賞(個人の顕彰・賞金・記念品)※他薦  
⑤特別支援学校図書支援助成(助成金30万円)
- 応募締切** 6/18(木) 当日消印有効
- 提出先** 公益財団法人 伊藤忠記念財団 助成事業部 〒107-0061東京都港区北青山2-5-1

**問合せ先** 公益財団法人 伊藤忠記念財団 助成事業部  
TEL/ 03-3497-2651 FAX/ 03-3470-3517  
Eメール/ bs-book@itc-zaidan.or.jp

### 26 2026年度(第52回)丸紅基金

社会福祉法人 丸紅基金 <https://www.marubeni.or.jp/>

全国の福祉施設や団体が必要とする設備、機器、車輛、家屋のほか、各種団体が行う調査・研究活動などの資金助成として、最大総額3億円を助成します。

- 応募要件** ・1件当たり上限300万円・申込者(実施主体)は、原則として非営利の法人であること  
※法人でない場合でも3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象とす  
・助成決定から1年以内(2026年12月から2027年11月末)に実施が完了する予定であること  
・一般経費の補填でないこと  
・申込案件に、国や地方公共団体の公的補助が見込めないこと。また、他の民間機関からの助成と重複しないこと
- 応募方法** HPの応募ページにEメールアドレスを登録後、Eメールに送付された申請用URLにアクセスし、必要事項の記入、必要書類のアップロードを行ってください(※詳細はHP参照)
- 応募締切** 6/30(火)23:59まで(応募確定)

**問合せ先** 社会福祉法人 丸紅基金  
〒100-8088 東京都千代田区大手町1-4-2  
TEL/ 03-3282-3835/7591 FAX/ 03-3282-9541 Eメール/ mkikin@marubeni.com

### 24 第57回(2026年度)博報賞

公益財団法人 博報堂教育財団 <https://www.hakuhodofoundation.or.jp/prize/>

「博報賞」は、児童教育現場の活性化と支援を目的として、財団設立とともにつくられました。日々教育現場で尽力されている学校・団体・教育実践者の「波及効果が期待できる草の根的な活動と貢献」を顕彰しています。※詳細はHPを参照

- 応募要件** 以下、すべての条件を満たし、現在も教育的な活動を続けている団体もしくは個人  
・日本国内での活動であり、日本在住の子どもを対象とした活動であること  
・主に6~15歳が中心の活動。特別支援教育については、主に4~18歳が活動の中心であること  
・活動開始から3年以上経過していること(※3年目の活動は審査対象外)  
・過去に「博報賞」を受賞している場合、受賞時とは異なる活動内容であること  
※応募には、推薦者資格を有する第三者による推薦が必須です
- 応募方法** 郵送・Web ※詳細はHPの「応募ページ」をご確認ください
- 応募締切** 6/25(木)財団必着(不備等の修正を含む)・Webはアップロード完了

**問合せ先** 公益財団法人 博報堂教育財団 博報賞担当  
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル14階  
TEL/ 03-6206-6266(平日9:30~17:30) Eメール/ hakuhouhou@hakuhodoco.jp

# 学生ボランティア活動

## 連載リレーコラム

No.56

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

## こども食堂での学びとこどもたちとの関わり



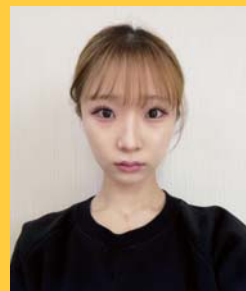
好きなドーナツを争奪!  
最初はゲー、ジャンケンポン!



私は『smileあふる』という団体に所属し、こども食堂のボランティア活動に参加しています。この活動は主に大学生が主体となって運営されており、中学生のボランティアも参加しています。こども食堂は月に1〜2回開催され、地域のこどもたちや保護者の方々が安心して集まれる場所となっています。活動内容は、食材の準備や調理の補助、配膳、食事後の片付けに加え、こどもたちの分からない宿題の手伝いなどです。また、食事の前後にはこどもたちと会話をしたり、一緒に遊んだりしながら交流を深めています。

『smileあふる』では大人だけでなく学生も活動に参加している

ため、こどもたちにとってはお兄さんやお姉さんのような身近な存在となり、気軽に関わることができると感じています。こどもたちと接する中で、ただ楽しく遊んだり見守ったりするだけでなく、一人ひとりの様子を気にかけながら関わることの大切さも学びました。また、クリスマスイベントなどの行事も開催し、こどもたちや地域の方々が交流できる場を設けています。こうした活動を通して、さまざまなこどもたちの状況を知り、どのように関わるべきかを考える機会となりました。この経験は将来にも役立つと感じており、自分にとって大きな学びとなっています。



大阪信愛学院大学・看護学部  
平野 鈴奈 ひらのりな

所属団体: NPO法人smileあふる  
趣味: 睡眠・ご飯  
学年: 1年

## 学生コラムライター大募集!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

- 対象** 大阪市内でボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)  
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。
- 内容** 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただけます)
- 応募方法** 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。
- お問合せ先** 大阪市ボランティア・市民活動センター  
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室  
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当:泉)

エントリーはこちらから▶



## アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。  
抽選で毎月3人に記念品をプレゼントします。

### 応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

#### 1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。

ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上

#### 2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。

#### 3. これまでに情報誌 COMVOを見て、ボランティア活動をしたことはありますか。

ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)

#### 4. 今月号で良かった記事は何ページですか? その理由も教えてください。

#### 5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。

#### 6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。  
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

宛先

大阪市ボランティア・市民活動センター  
「読者アンケート 情報誌COMVO302号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2026(令和8)年5月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報は、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



## 編集後記

今号の『COMVO』は早くも令和8年度 第1回目の発行号となり、新たな特集テーマになりました。令和8年度の特集テーマは「出会いをつなぐ 広げるチカラ」です。

本誌をきっかけに、新たなボランティア活動や人との出会いを見つけてほしい。そして、一つひとつのつながりは、自身を成長させ、活動を継続させる原動力に変わります。「つながり」の必要性を伝え、ボランティアから生まれたエネルギーが地域にどのような変化を与えるのか。引き続き、たくさんのチカラを発信していきたいと思えます。

また、表紙のデザインも新しくなり、今年度の情報誌を全て手に取っていただければ面白い「仕掛け」が発見できるかもしれません。是非今年度もご愛読いただければ嬉しいです。

## ボランティア・市民活動情報誌

# COMVOへの広告募集!

- 体裁・発行・部数  
B5判 16頁(フルカラー)年6回発行 各40,000部
- 広告申し込み締切  
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申込ください)
- 申込方法  
下記まで問合せください

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

### 広告料金(税込)

掲載箇所スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)
表4 1ページ	234,000円	240×170
表4 1/2ページ	127,500円	120×170
本文 1ページ	156,000円	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	120×170
本文 1/4ページ	46,500円	60×170

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。それ以外は別途製版料が必要です。  
※掲載ページの指定はできません。 ※内容により掲載をお断りする場合があります。

### 企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

## 大阪市ボランティア・市民活動センター

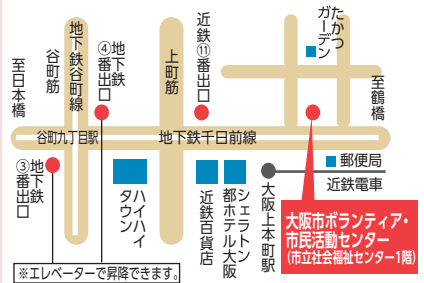
Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL 06-6765-4041 FAX 06-6765-5618

E-mail [ocvac@osaka-sishakyo.jp](mailto:ocvac@osaka-sishakyo.jp) HP <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

- 開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)
- 休館日:日・祝・国民の休日・年末年始 ● 発行日:2026年4月15日
- 発行部数:40,000部 ● 制作協力:東洋紙業高速印刷株式会社 ● 点訳協力:NPO法人ぼこ・あぼこ
- 掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。
- 本誌は大阪府共同募金会の助成を受けて作成しています



### 「COMVO」主な設置・配布場所

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区社会福祉協議会、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など  
※大阪市ボランティア・市民活動センターでは、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

## 24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

区名	所在地	電話(06)	FAX(06)
北区	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区	浪速区難波中3-8-8	6636-6027	6636-6028
西淀川区	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区	東成区大今里南3-11-2	6977-6336	6977-6339
生野区	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区	鶴見区諸口5-浜6-12	6913-7070	6913-7676
阿倍野区	阿倍野区帝塚山1-3-8	6628-3434	6628-9393
住之江区	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区	住吉区浅香1-8-47	6607-8181	6692-8813
東住吉区	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668